

第38回中畑清旗争奪ソフトボール大会における 新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン

中畑清旗争奪ソフトボール大会実行委員会事務局

当実行委員会では第38回大会を開催するにあたり、選手をはじめ各チームに関係するすべての方々の命と健康を第一に考え、新型コロナウイルス感染症への予防策を講じながら大会を実施することに、御理解と御協力をお願い申し上げます。

1. 大会開催のための共通留意事項

- (1) 三つの密(密閉、密集、密接)の発生が原則想定されないこと。
- (2) 人と人の間隔はできるだけ2m(最低1m)を目安に。
- (3) 飲食時を除き原則マスクを着用する(体質により着用が困難な者を除く)
- (4) 大会参加者は本ガイドライン及びチェックリスト等を遵守すること。
- (5) 参加当日の朝に体調不良(発熱・倦怠感など)である場合来場を禁止する。
- (6) 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCOA)を推奨する。
- (7) 大会終了後14日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対し速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。
- (8) 参加者などに感染が判明した場合はプライバシーに配慮した上で関係機関に連絡を行う場合がある。

2. 大会関係者(参加チーム、競技役員、運営スタッフなど)への対応

- (1) 会場に入場できる者はチーム関係者(監督、コーチ、塁審、選手、選手保護者)、大会役員、審判員、事務局、報道関係者のみとする。
- (2) 選手1名につき保護者は1名とする。
- (3) 大会参加者の健康状態を把握するため、監督、コーチ、塁審、選手に健康チェックシートの提出を求める。必要事項を記入し、チーム代表者は当日受付に忘れずに提出すること。
- (4) チーム代表者は(1)～(3)について関係者に周知すること。
- (5) 参加チームの監督、コーチ、選手、同居者が次の項目に該当しないことを確認し参加すること。

- ①過去 1 週間以内から現在までに体温 37.5 度以上、強い倦怠感、感冒様症状(咳、咽頭痛、息苦しさ等)、味覚・嗅覚異常などの異変がある場合を含む体調不良のある者
- ②PCR 検査陽性歴があり
 - ア. 有症状者では発症日から 10 日未満、かつ、症状軽快後 72 時間以内
 - イ. 症状軽快後 24 時間経過から 24 時間以上の間隔をあけ 2 回の PCR 検査で陰性を確認できていない
 - ウ. 無症状病原体保有者では、陰性確認から 10 日未満
 - エ. 検体採取日から 6 日間経過後 24 時間以上の間隔をあけ 2 回の PCR 検査陰性を確認できていない
- ③濃厚接触者として自宅待機中の者※ 濃厚接触者:患者(確定例)の感染可能期間に接触した者。なお、濃厚接触者の指定は該当者の居住地の保健所が判断する。
- ④家族が濃厚接触者として自宅待機中の者
- ⑤家族に①及び②のいずれかの体調不良のある者
- ⑥海外から帰国(日本に入国)して 14 日未満の者
- ⑦本ガイドラインならびに大会本部の指示に従わない者

(6)感染予防

- ①競技中のマスク着用については、選手、審判員の判断とするがベンチにいる時には全員がマスクを着用すること。
- ②定期的に各チームにて準備した消毒液での手指消毒の徹底を図ること。競技役員スタッフ用には各所に消毒液を設置する。
- ③自家用車で会場まで移動する際は車内の換気を徹底すること。
- ④タオル・ペットボトル・コップ等の共用は避ける。
- ⑤参加チームは飲食等の際に出たごみや鼻水、唾液等がついたゴミなど、全てのゴミを持ち帰ること。運営スタッフ等は本部で準備したゴミ箱を使用すること。
- ⑥ボールを触った手で目、鼻、口を触らないこと。
- ⑦来場、退場は静かに行うこと。
- ⑧敷地内における唾、痰を吐く行為は禁止する。

(7)観戦者への対応

- ①観戦者に発熱(37.5 度以上)、倦怠感、咽頭痛などの症状が見られる場合には感染を遠慮してもらおう※ホームページ等で事前告知する。
- ②マスクの着用を徹底し密にならないよう人的距離をとること。
- ③応援方法については以下の行為を禁止する。
 - a)肩組み、飛び跳ねなど集団での動きを伴う応援(接触感染リスク)

- b) メガホンなどを使用しての応援(飛沫感染リスク)
- c) 大声を出しての応援(飛沫感染リスク)
- d) フラッグや応援タオルを振り回す応援(飛沫、接触感染リスク)

④敷地内は全面禁煙

(8) 競技上の留意点

- ① バット、ヘルメット等は各選手が使用し可能な限り他の選手との共用を回避するように努め、共用せざるを得ない用具についてはこまめに消毒を行う。
- ② 握手、グータッチ、ハイタッチ、ハグなどの身体的接触を避ける。
- ③ 円陣は控える。
- ④ ベンチ内から声かけ、指示を出す際は対人距離に注意する。
- ⑤ 試合中審判はマスクを着用することが望ましいが義務付けは行わない。

(9) 受付時の留意事項

受付担当者はマスク着用し、こまめに消毒液による消毒を行う。

3. その他

(1) 大会開催に向けて大会本部は次のものを準備する。

- ① 本部、審判待機場所、会場運営スタッフ用のテントには消毒液を用意。
- ② トイレにはポンプ式の石鹼、消毒液を用意。
- ③ 本部裏にふた付のごみ箱を用意(審判、運営スタッフ用)